

令和4年度 事業予定 (案)

全国科学博物館協議会

令和4年度の事業に関しては、下記の通り予定するものの、新型コロナウイルス感染症による影響を十分考慮し、実施については個別事業ごとに適時に判断するものとする。

1 管理運営

事 項	内 容	
第1回 理事会	期 日	令和4年7月7日(木)
	会 場	国立科学博物館 大会議室 及び オンライン
第1回 総 会	期 日	令和4年7月7日(木)
	会 場	国立科学博物館 講堂 及び オンライン
	施設見学	令和4年7月8日(金) 見学先：港区立みなと科学館、気象科学館
第2回 理事会	期 日	令和5年2月15日(水) (予定)
	会 場	浜松科学館 及び オンライン
第2回 総 会	期 日	令和5年2月15日(水) (予定)
	会 場	浜松科学館 及び オンライン

2 事 業

(1) 研 修 事 業

事 項	内 容	
学芸員専門研修 (アドバンス・コース)	博物館の現状を幅広い観点から理解するとともに、資料の収集・保管、調査研究、展示、教育普及活動等について専門的、実践的な研修を行う。	
	期 間	令和4年11月7日(月)～11月9日(水) (3日間)
	共 催 者	国立科学博物館
	対 象	自然科学系博物館またはその他の博物館等において自然科学系部門を担当する 中堅学芸員等専門職員の方及び子供を対象とした解説と実演ができる方を優先 ※原則的に、全日程の研修に参加できる方。 10名程度
	内 容	岩石・鉱物標本収蔵法及び子供を対象とした体験実習等
オンライン学芸員研修 (予定)	博物館の現状を幅広い観点から理解するとともに、資料の収集・保管、調査研究、展示、教育普及活動等について基礎的、実践的な研修をオンラインで行う。	
	期 間	未定
	共 催 者	国立科学博物館
	対 象	博物館等で自然科学系部門を担当する学芸員等専門職員の方 30名程度
	内 容	未定
海外科学系博物館 視察研修	米国の科学系博物館等における運営、展示技術、学習支援活動等について理解を深め、博物館の充実、発展に資することを目的として海外視察研修を実施する。 ※令和4年度は実施しない。	
海外先進施設調査	海外の先進的な科学系博物館等における先進的な取り組みについて調査を行う。 ※令和2年度派遣候補者の意向を確認したところ、2名は辞退。	
	期 間	令和4年9月～10月頃 (予定)
	対 象	正会員 1名 (予定)
	訪 問 館	米国の博物館施設 (予定)
	備 考	財源の一部として(公財)カメイ社会教育振興財団の助成に応募

オンライン研修	<p>テーマ「ISIL説明会」</p> <p>期 間 令和4年6月15日（水）</p> <p>会 場 オンラインにて開催</p> <p>対 象 全科協加盟館園・機関等</p> <p>講 師 国立国会図書館関西館図書館協力課 平澤氏</p> <p>※年度中のさらなる実施を検討。</p>
---------	--

(2) 連携促進事業

事 項	内 容
研究発表大会	<p>科学系博物館に共通する課題や各館の活動成果について発表及び協議し、学芸員等博物館専門職員の活動の一層の充実に資することを目的とし開催する。</p> <p>期 日 令和5年2月16日（木）（予定）</p> <p>会 場 浜松科学館</p>
巡回展の実施協力	<p>加盟館園を対象として、制作展示の巡回展の広報を行う。</p> <p>【加盟館による募集展示】</p> <p>巡回展「ノーベル賞を受賞した日本の科学者」（製作：国立科学博物館）</p> <p>巡回展「ダーウィンを驚かせた鳥たち」（製作：国立科学博物館）</p> <p>巡回展「琉球の植物」（製作：国立科学博物館）</p> <p>パネル展「地球の時間、ヒトの時間」（製作：産業技術総合研究所 地質標本館）</p> <p>パネル展「美しい砂の世界」（製作：産業技術総合研究所 地質標本館）</p> <p>パネル展「日本初！日本列島大分析 元素で見る『地球化学図』」</p> <p>パネル展「深海の新しい資源にせまる —SIPプロジェクトによる革新的な地質調査— （製作：産業技術総合研究所 地質標本館）」</p> <p>パネル展「日本列島ストレスマップ —地震観測とAIで読み解く全国の地殻応力場— （製作：産業技術総合研究所 地質標本館）」</p> <p>パネル展「祝チバニアン誕生！拡大版—もっと知りたい千葉時代— （製作：産業技術総合研究所 地質標本館）」</p> <p>パネル展「『時』展覧会2020」（製作：「時」展覧会2020実行委員会）</p> <p>巡回展示「ラ・ビレット展」（製作：（公財）日本科学技術振興財団）</p> <p>巡回展示「マグネット展」（製作：（公財）日本科学技術振興財団）</p> <p>巡回展示「スポーツを科学する」（製作：（公財）日本科学技術振興財団）</p> <p>巡回展示「感覚・体感フィールド」（製作：（公財）日本科学技術振興財団）</p> <p>巡回展示「科学捜査展」（製作：（公財）日本科学技術振興財団）</p> <p>巡回展示「究める！マグネット展」（製作：（公財）日本科学技術振興財団）</p> <p>巡回展示「科学捜査展 #SEASON2」（製作：（公財）日本科学技術振興財団）</p> <p>巡回展示「マスレチック・ランド」（製作：（公財）日本科学技術振興財団）</p> <p>巡回展示「光の世界」（製作：（公財）日本科学技術振興財団）</p> <p>巡回展示「自然現象のメカニズム展」（製作：（公財）日本科学技術振興財団）</p>
科学系博物館ネットワークシステム事業への協力	<p>国立科学博物館が行っている科学系博物館情報ネットワークシステム事業（S-net）について、事業推進、参画館の拡大に協力する。</p>
事業に対する後援	<p>加盟館園や関係機関等が実施する事業で、全科協の設置目的に適合し、適当と認められた事業に対し後援を行う。</p>

(3) 広報普及事業

事 項	内 容
機関誌の発行	<p>全科協ニュース編集委員会を開催し、特集テーマ等加盟館園にとって有益な情報を掲載するよう内容の充実を図る。</p> <p>全科協ニュース編集委員会：令和4年7月14日（木）開催（予定） ※全科協ニュースは年6回編集発行（A4判16頁内カラー4頁、900部）</p>
入会案内及び広報活動	<p>全科協ホームページ及びfacebookやメーリングリストを活用して加盟館園への情報周知、内容のさらなる充実を図る。</p> <p>他の博物館等協議会や関連企業等と情報交換し、リーフレットを配布するなど全科協への加盟促進の広報に努める。</p>